

2022 年 9 月 16 日

News Release

家族葬のパイオニア・きずなグループの(株)備前屋 市内 3 号店『岡山下中野ホール』オープン 創業 52 年。時代と共に移りゆく地域の葬送に寄り添って

株式会社きずなホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 グループ CEO：中道 康彰、東証上場 7086）の事業子会社である株式会社備前屋（本社：岡山県瀬戸内市、代表取締役：岡本 洋子）は、「家族葬のファミーユ」ブランドで岡山市内 2 号店目となる「家族葬のファミーユ 岡山下中野ホール（所在地：岡山市北区下中野）」を 2022 年 10 月 3 日（月）にオープンします。



ダークブラウンで統一したシンプルな外観（イメージ）



各空間の仕切りをなくしたリビングタイプの式場（イメージ）

株式会社備前屋は、1970 年の創業から半世紀超にわたり、葬祭サービスを通じて地域と共に歩んでまいりました。今回オープンする「家族葬のファミーユ 岡山下中野ホール」は、同社直営店における岡山県内 5 店舗目、岡山市内 3 店舗目であり、きずなグループ直営店の累計 114 店舗目にあたります。

<自宅葬から一般葬、そして家族葬へ。常に社会の変化を映し出してきた葬送の形>

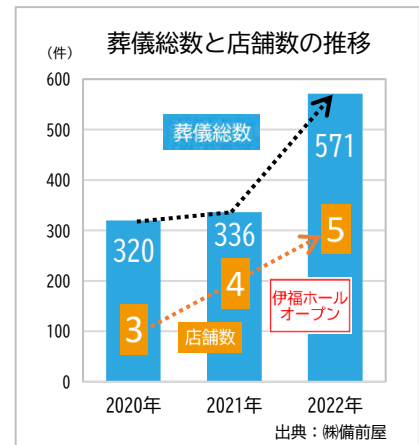
葬送の形はその時々世相や家族の在り方を映しながら、進化を続けています。お葬式といえば「一般葬」が主流だったのは昭和後期から平成の時代。それ以前はほとんどが自宅で執り行う「自宅葬」でした。その後、経済の発展や都市化が進むとともに、参列者の人数も増え、大きな葬祭会館や互助会制度が浸透していきました。平成中期以降は高齢化や核家族化、さらに長引くコロナ禍で「家族葬」のニーズが加速度的に増加しています。

時代	主流の葬儀形式	葬儀の概要と時代背景
戦後～昭和中期	自宅葬	通夜・葬儀・告別式を含めて、自宅で行うお葬式。場合によっては寝ずに儀式のすべてを取り仕切るため、遺族の負担が大きい。一億総中流化・核家族化・女性の社会進出などで激減。
昭和後期～平成	一般葬	専用の葬祭場で行われ、多くの参列者が訪れるお葬式。産業構造の変化や都市部への人口流入が進み、葬儀には親類縁者・近隣住民のみでなく、会社関係者などが多く参列するように。それに合わせ、大規模な葬祭会館も全国に数多く建設された。
平成終盤～令和	家族葬	家族と親しい人で行う比較的小規模で自由度の高いお葬式。平均寿命の伸長等を背景に都心部を中心に広がっていたが、新型コロナウイルス感染症の大流行で全国的に普及が加速。

「葬儀形式の変遷とその時代背景」家族葬のファミーユ作成

<瀬戸内市の葬送を見守り半世紀。家族葬の到来で変わりつつある葬送文化>

花輪事業からスタートした備前屋が、岡山・瀬戸内エリアで初めて葬祭会館を開業したのは1991（平成3）年のことでした。当時は規模の大きい一般葬に対応できる会館展開を進めていたものの、「年回法要を行いたい、会場が広すぎる」「参列者が減ってきたのでそれに合った葬儀を出したい」といった地域の声を受け止め、2004（平成16）年、本社敷地内（瀬戸内市）に家族葬専用式場を構えました。当時、家族葬専用式場は周辺地域には見当たらず、これが岡山における家族葬の始まりだったと自負しています。以来、家族葬ニーズはこの岡山の地でも着実に増加。2018（平成30）年には『オブジェ 西大寺（岡山市東区）』を開設しました。



2式場での家族葬施行を通じて時代の大きな変化を強く実感したことを背景に、2021（令和3）年1月には家族葬のパイオニアである『きずなグループ』に参画。同年10月に「家族葬のファミリー 岡山伊福ホール」をオープンすると、コロナ禍による3密の回避、より安心・安全な葬送を求める生活者のニーズと「1日1組貸切」というコンセプトがマッチし、想定を遥かに上回る施行件数となりました（上グラフ）。

■ 「家族葬のファミリー 岡山下中野ホール」概要

オープン日：2022年10月3日（月）

住 所：岡山県岡山市北区下中野 358-108

ア ク セ ス：〈バス〉岡電バス（北長瀬駅前行き）

「下中野本町」より徒歩3分

〈電車〉JR線「大元駅」「備前西市駅」

より車で5分

JR「岡山」駅より車で13分

建 物 構 造：鉄骨造平屋建

敷 地 面 積：604.86 m²

建 築 面 積：177.29 m²

施 設 内 容：ホール25席、遺族控室1室、導師控室

電 話 番 号：0120-24-5556（備前屋）

駐 車 場：8台



■ 岡山下中野ホール オープニングキャンペーン概要

（新型コロナウイルスの感染拡大や政府・自治体による自粛勧告等で、イベントは中止する場合があります。）

10月3日のオープンに先駆けて、近隣にお住まいの皆様へのご挨拶を兼ね、どなたでもご参加可能な施設内をじっくりご覧いただける見学会と、相談会を開催いたします。

開 催 日 時：2022年9月23日（金・祝）～10月2日（日）

各日 10:00～16:00 （各日定員 35組）

来場者プレゼント：日乃出醤油（小泉醸造元）のお醤油セット

（※1家族1セット。数に限りがございます。）

来場者特典：オープニング内覧会中は絆ファミリー倶楽部（生前会員制度）
のご入会金が無料（通常 5,000 円）



創業142年の老舗
日乃出醤油のお醤油セット
（写真はイメージです）

オープニングキャンペーンに関するお問い合わせ・ご予約先
TEL：0120-24-5556（備前屋）

■会社概要

株式会社備前屋

岡山市・瀬戸内市のお葬儀・家族葬なら **備前屋** 

- 【 設 立 】 1970 年 6 月
- 【 代 表 】 代表取締役 岡本 洋子
- 【 所 在 地 】 岡山県瀬戸内市邑久町豊原 90-1
- 【 連 絡 先 】 TEL：0869-22-1335（代表）
- 【 従 業 員 】 27 名(2022 年 8 月 31 日現在) ※正社員・契約社員・パート(派遣社員除く)
- 【 資 本 金 】 4,300 千円
- 【 事業内容 】 葬儀葬祭に関する一切の業務
アフターサポート業務（仏壇・仏具・墓石・墓地販売）
- 【 U R L 】 <https://www.sougi-bizenya.jp/>

株式会社きずなホールディングス



葬儀葬祭サービス業「(株)家族葬のファミリーユ」、「(株)花駒」、「(株)備前屋」の 3 社を有する純粋持株会社です。「葬儀再生は、日本再生。」を企業理念に掲げ、家族葬の提供を通じて家族同士や人と人との絆をむすび、展開地域の拡大による地域経済の活性化を図ると共に、“日本により良い葬儀が増えれば、より良い未来につながる”と信じて、企業の成長を促しています。

- 【 設 立 】 2017 年 6 月
- 【 代 表 】 代表取締役社長 兼 グループ CEO 中道 康彰
- 【 所 在 地 】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【 従 業 員 】 624 名（グループ連結、2022 年 5 月 31 日現在、臨時雇用者含む）
- 【 証券コード 】 東京証券取引所グロース市場 7086
- 【 資 本 金 】 153,360 千円
- 【 売上収益 】 9,270 百万円（グループ連結、2022 年 5 月期 IFRS 基準）
- 【 事業内容 】 グループ全体の経営戦略に関する立案、推進ならびに管理
- 【 U R L 】 <https://www.kizuna-hd.co.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

株式会社きずなホールディングス 広報部（グループ広報窓口）

E-mail：pr@kizuna-hd.co.jp FAX：03-5427-6433

担当：金井、佐藤 Mobile：070-7601-5550（受付時間 平日 9：00～17：00）